

[到達目標 学士課程の教育内容・方法]

経営学は、たえず変化し進歩し続ける企業組織、非営利組織など、さまざまな組織体の行動と成果を分析する有効な手段であり、多様化、複雑化する現代社会を解き明かす鍵となる。

そこで経営学部の学部教育においては、**経営学の理論的、実践的、学際的な教育を通じて、幅広い視野と問題解決能力をそなえた人材を育成**し、社会に送り出すことを目標とする。さらに、企業経営が社会的変化に柔軟に対応して、自己変革しながら存続、発展を図るように、経営学部は、現実の社会、そして企業経営との相互交流によって、教育研究のよりいっそうの充実を図り、新しい時代を切り拓く人材育成をめざしている。

[到達目標 学生の受け入れ]

各入試制度の見直し等により恒常的な定員充足を図ることがあげられる。そのために各入試制度の特徴を生かした教育機会の提供を充実させる。その端緒として英語能力の高い学生に対する特徴ある受け入れ態勢と特徴ある入試をめざしている。

また、**公開講座開設等を含む社会等に対する教育機会の拡大**があげられる。そのために社会人学生の間で高まっているリカレント教育ニーズに対する充実をめざしている。

[到達目標 教員組織]

経営学部に属する全学生が等しく良質の教育サービスを受けることができるようにすることをめざしている。そこで**経営学の学問領域をバランスよく反映する専任教員の構成**を図ることがあげられる。すなわち、学生1人あたりの教員数のバランスをはかることをめざしている。また、**授業改善のために教員が自発的な取組**ができるように環境を整えることをめざしている。